

- 中央アルプス山行（越百山～空木岳）
- 2024年7月26日（金）～29日（月）
- メンバー：M（記）
- 行動記録

一日目 夜自宅発 19:36 京滋バイパス・名神・中央道経由 道の駅大桑 0:50（車中泊）

二日目 道の駅大桑 4:55 からゲート 5:30・伊奈川ダム登山口経由で越百小屋泊 11:56（食事提供なし）

三日目 越百小屋 5:30～越百山（南越百山往復）～仙涯嶺～南駒ヶ岳～赤柳岳～空木岳～木曾殿山荘 14:37 泊

四日目 木曾殿山荘 5:30～うぎぎ平～金沢土場～伊奈川ダム登山口～ゲート 10:23、中津川 IC から高速にて帰奈良

- 今回、中央アルプスの主稜線でまだ歩いていない山域として空木岳～越百山を計画した。空木岳以北は記録によると47年前に歩いている。今回のコースは調べてみると伊那側よりも木曾側の方がアクセスがよく、伊奈川ダムを起点に越百山～空木岳を周回することにした。このコースを一日で周回する猛者もいるが、越百小屋と木曾殿山荘を利用する2泊3日が妥当なところだろう。実施日は山小屋の予約状況から7月末の単独行とした。金曜日の夜、自宅を出て深夜に道の駅到着、翌朝登山口に向かうが工事の関係でその手前の橋のゲート前に路駐。すでに多くの車がありだいたい手前の路肩に駐車。計画より約40分余計に歩くことになる。山路になる福柄橋まではひたすら林道を進む。急勾配のあまりない山路は眺望がほとんどない。途中2か所ある水場のうち上の水場で昼食休憩後、最後の登りを越えて少し下ると赤い屋根の越百小屋に昼前に到着。定員は20人程度の小屋だが天気予報によるキャンセルがあり今日は9人だ。今年から食事の提供がないため、今日は自炊だ。



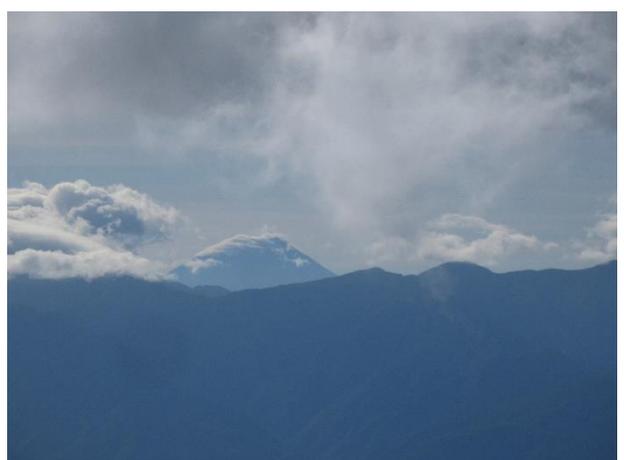
ゲート前の路肩駐車、木曾側の入山者も多い



標高 2340m あたりに建つ越百小屋



ガスの中の越百山



ガスが上がり始めて富士山が姿をあらわす

翌日は標高差約270mを登ると樹林限界をこえて越百山に到着、時々ガスがかかるが眺望がひろがる。多少のヤブこぎをして南越百山までのピストンを終えて仙涯嶺に向かう。なだらかな稜線の先にある岩峰を越えると仙涯嶺、ここから南駒ヶ岳までは岩稜が続く。南駒ヶ岳からはいったん下り赤柳岳に登り返す。この後も岩稜が続き正面の空木岳が大きくなると午後1時過ぎに空木岳に到着、眼下に空木平カールがひろがり中央に避難小屋が見える。また1998年に完成された駒峰ヒュッテもすぐそこにある。小憩後今夜の泊まり場である木曾殿山荘に向かうがコースの約半



越百山から歩いてきた稜線



仙厓嶺（中央）と南駒ヶ岳(左端)



仙厓嶺から南駒ヶ岳に続く尾根路



南駒ヶ岳を越えて赤柳岳に向かう



赤柳岳からガスに隠れた空木岳



空木岳まであとわずか

分は岩稜が続く。眼下に山荘が見えると九十九折れの道となり山荘についた。今日は満室のようで宝剣からの縦走者が多い。

翌日も天気がよく、伊奈川ダムに向けて出発。宿泊者は皆伊那側のコース利用者で木曾側に下るのは私だけだ。勾配も緩く歩きやすいが眺望のないロングコースだ。六合目の北沢の渡渉は、増水時は渡れないが今日は飛び石づくたいに渡ることができた。熊の目撃情報があるといううさぎ平からは林道歩きとなり約2時間で車に戻り、温泉経由で夕方には帰宅することができた。今回は雨にも合わず、稜線は時々ガスに隠れたが総じて眺望もあり良い天気での山行で岩稜歩きが楽しめた。



空木岳から山荘への下りも岩稜が続く



鞍部に建つ木曾殿山荘



木曾殿山荘前からの日の出、午前4時51分



下山コースのなだらかな道、緩やかで歩きやすい



キベリタテハ



トウヤクリンドウ



ヒメウスユキソウ